

第27回学術集会プログラム

第1日目 8月21日(金)

開会挨拶 13:25 - 13:30

【一般演題】

Session A 無脊椎動物の免疫・生体防御機構

座長 小林雄毅 (九州大学大学院)

A1 13:30 脂質修飾が引き起こす架橋酵素の細胞内局在性の変化

○柴田俊生^{1,2}、羽田野仁喜²、田川圭介³、川畑俊一郎¹(¹九大院・理・生物、²九大院・高等研究、³九大院・システム生命科学)

A2 13:45 ショウジョウバエにおける架橋酵素の細胞外分泌機構

○羽田野仁喜¹、柴田俊生^{2,3}、川畑俊一郎²(¹九大院・システム生命科学、²九大院・理・生物、³九大院・高等研究)

A3 14:00 架橋酵素と囲食膜構成タンパク質の生体防御における役割

○槇光輝¹、柴田俊生^{2,3}、吉田邦嵩⁴、川畑俊一郎²(¹九大院・システム生命科学、²九大院・理・生物、³九大院・高等研究、⁴九大・理・生物)

座長 矢野 環 (東北大学大学院)

A4 14:15 カプトガニ体液凝固因子factor Bのリポ多糖依存的な活性化機構

○小林雄毅¹、高橋俊成²、柴田俊生^{1,3}、小柴琢己¹、水村光⁴、小田俊男⁴、川畑俊一郎¹(¹九大院・理・生物科学、²九大院・システム生命科学、³九大院・高等研究、⁴生化学工業)

A5 14:30 カプトガニ体液凝固因子 proclotting enzyme におけるクリップドメインの機能解析

○高橋俊成¹、小林雄毅²、柴田俊生^{2,3}、小柴琢己²、水村光⁴、小田俊男⁴、川畑俊一郎²(¹九大院・システム生命科学、²九大院・理・生物科学、³九大院・高等研究、⁴生化学工業)

座長 柴田俊生 (九州大学大学院)

A6 14:45 3種のシンカイヒバリガイ類の血球の形態分類と食食活性

○多米晃裕^{1,2}、吉田尊雄³、大石和恵³、丸山正³(¹(株)マリン・ワーク・ジャパン、²北里大学大学院、³海洋研究開発機構)

A7 15:00 タコノマクラ胚発生における食食開始の異時性

○日比野拓(埼玉大学・教育学部)

A8 15:15 日本脳炎ウイルスに対するネッタイシマカの防御機構

○佐々木年則、鋤田龍星、星野啓太、伊澤晴彦、澤邊京子、小林 睦生(国立感染症研究所昆虫医科学部)

休憩&自由討論 15:30 – 15:45

Session B 魚類の免疫・生体防御機構1

座長 筒井繁行 (北里大学)

B1 15:45 トラフグ腹腔マクロファージが産生するCXCL13はB細胞遊走を促進する

○小高智之、齋藤匠、中条太郎、前田知己、末武弘章、宮台俊明(福井県立大学・海洋生物資源学部)

B2 16:00 魚類CCL19の受容体はCCR7である

○丸山亜美、中条太郎、前田知己、小高智之、末武弘章、宮台俊明(福井県立大学・海洋生物資源学部)

B3 16:15 トラフグlymphotoxin beta receptor(LTβR)の同定

○前田知己^{1,2}、末武弘章¹、小高智之¹、宮台俊明¹(¹福井県立大学・海洋生物資源学部、²日本学術振興会特別研究員)

座長 日比野拓 (埼玉大学)

B4 16:30 トラフグマンノース結合 IgM はヘテロボツリウム幼生の脱繊毛を誘導する

○五十嵐健斗¹、平河早智²、細谷将³、末武弘章²、菊池潔³、中村修¹、宮台俊明²、鈴木譲³、田角聡志³、筒井繁行¹(¹北里大学・海洋生命科学部、²福井県立大学・海洋生物資源学部、³東京大学・水産実験所)

B5 16:45 スクーチカ症の原因繊毛虫*Miamiensis avidus*に感染したヒラメにおける血球の免疫応答

大西由歌里¹、仲山慶¹、○北村真一¹、安本信哉²、近藤昌和²(¹愛媛大学・沿岸環境科学研究センター、²水産大学校・生物生産学科)

役員会 17:00 – 18:00

第2日目 8月22日(土)

【一般演題】

Session C 魚類の免疫・生体防御機構2

座長 Dijkstra, Johannes Martinus (藤田保健衛生大学)

C1 9:00 コイ顆粒球コロニー刺激因子の同定及び機能解析

○片倉文彦、日野エリカ、西谷広平、宮前二郎、森友忠昭(日本大学・生物資源科学部獣医学科・比較免疫学研究室)

C2 9:15 コイインターロイキン2 遺伝子の性状解析

○浅川雅清、今飯田創太、宮前二郎、片倉文彦、森友忠昭(日本大学・獣医学科・比較免疫学研究室)

C3 9:30 リコンビナントコイインターロイキン2 の作製及び機能解析

○竹元亜利沙、松田有弘、宮前二郎、片倉文彦・森友忠昭(日本大学・獣医学科・比較免疫学研究室)

C4 9:45 コイヘルパーT 細胞のクローン化培養

○清原堯樹、大塚健介、宮前二郎、片倉文彦、森友忠昭(日本大学・獣医学科・比較免疫学研究室)

座長 片倉文彦 (日本大学)

C5 10:00 メダカ I 型インターフェロン遺伝子の同定と生物活性

○前川 峻¹、青木 宙^{1,2}、王 涵青¹、羅 竹芳³、竹山 春子²、引間 順一⁴、酒井 正博⁴(¹台湾国立成功大学・生物科技研究所, ²早稲田大学・ナノ・ライフ創新研究機構, ³台湾国立成功大学・生物科技研中心, ⁴宮崎大学・農学部)

C6 10:15 IFN γ 投与によるギンブナ好中球の活性化について

○中嶋城治、柴崎康宏、松浦雄太、難波亜紀、間野伸宏、中西 照幸(日本大学・生物資源科学部)

C7 10:30 コイ補体成分 C5 の精製

○世戸口牧子、柚本智軌、中尾実樹(九州大学・水族生化学研究室)

Session D 脊椎動物の免疫系およびその進化

座長 多米晃裕 (JAMSTEC)

D1 10:45 好中球モデル:好中球の存在に関する発見的見地

○近藤昌和、安本信哉、高橋幸則(水産大学校・生物生産学科)

D2 11:00 *Hox11*による脾臓形成システムは進化的に保存されている

○原誠二、前田知己、小高智之、末武弘章、宮台俊明(福井県立大学・海洋生物資源学部)

座長 北村真一(愛媛大学)

D3 11:15 アカハライモリ免疫グロブリン重鎖cDNAのクローニング

○吉永圭介、前田依莉子、林田晴佳(熊本高専・生物化学システム工学科)

D4 11:30 Evolution of the interleukin 2, 15 and 15-like family

Takuya Yamaguchi¹, Uwe Fischer¹ and Johannes M. Dijkstra² (¹Friedrich Loeffler Institutes, Insel Riems, Germany, ²Fujita Health University, Toyoake, Aichi-ken)

D5 11:45 肺胞上皮細胞が産生する炎症性サイトカインIL-17Fの結核菌に対する防御免疫への関与

○松崎吾朗¹、福井雅之¹、當山清悟¹、中江進²、岩倉洋一郎³、梅村正幸¹ (¹琉球大学・熱帯生物圏研究センター・分子感染防御、²東京大学・医科学研究所・システム疾患モデル研究センター、³東京理科大学・生命医科学研究所)

昼食 12:00 - 13:15

古田奨励賞選考委員会 12:00 - 13:15

総会・表彰式 13:15 - 14:15

休憩 14:15 - 14:30

古田賞受賞講演 (座長:笠原正典)

14:30 魚類の補体系における成分の多重化とその機能的意義

中尾実樹(九州大学大学院)

特別講演 (座長:宮台俊明)

15:30 魚類寄生粘液胞子虫の感染メカニズム

横山 博(東京大学大学院)

集会長・事務局長挨拶 16:30

写真撮影 16:45

懇親会場行き無料バス出発 17:00

懇親会 福井県立大学小浜キャンパス内キッチン Boo 18:00

第3日目 8月23日(日)

シンポジウム「寄生虫 vs. 宿主免疫」

司会: 宮台俊明(福井県立大学)

9:05 シンポジウム「寄生虫 vs. 宿主免疫」の主旨説明

宮台俊明(福井県立大学)

S1 9:15 魚類好塩基球の寄生虫応答メカニズム

○小高智之、末武弘章、前田知己、宮台俊明 (福井県立大学・海洋生物資源学部)

S2 9:50 宿主と寄生蠕虫の相互“依存”関係

○太田伸生 (東京医科歯科大・国際環境寄生虫病学分野)

S3 10:25 宿主免疫系によるトキソプラズマ原虫の排除機構とその破綻の分子機構

○山本雅裕 (阪大 微生物研究所・免疫学フロンティア研究センター)

S4 11:00 多機能性ハイブリッド型ワクチンプラットフォームを基盤としたマラリアワクチンの開発

○吉田栄人¹、水谷征法¹、伊従光洋¹、Blagborough AM²、福本晋也³、Sinden RE² (¹金沢大 ワクチン・免疫科学、²Imperial College London, Dept. Life Sciences、³帯広畜産大学 原虫病研究センター)

S5 11:35 寄生虫のリバースワクチノロジー

○後藤康之(東大・応用免疫)

総合討論 12:10 - 12:25

閉会の辞 12:25